

令和6年度（2024年度）

業 務 概 要

伊丹市立男女共同参画センター ここいろ

指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

目次

I	伊丹市立男女共同参画センターの概要	2
1	設置目的	2
2	センターの愛称	2
3	施設の概要	2
4	管理運営	2
5	センターの組織	3
6	施設の平面図	3
7	施設の内容	5
8	貸出施設（学習室・プレイルーム）の利用	5
9	利用料金	6
II	施設の利用状況	7
1	開館日数	7
2	月別利用状況	7
3	利用区分・施設別件数	8
III	啓発業務と講座等の開催	9
IV	市民活動及び交流の支援	25
V	相談事業	28
	相談事業実施件数	29
	女性のためのカウンセリング相談	30
	女性のための法律相談	30
	女性のためのチャレンジ相談	30
	女性のための悩み電話相談	30
	男性のための悩み電話相談	31
	セクシュアルマイノリティ相談	31
	就労支援相談	31
	グループカウンセリング	32
VI	情報事業	34
1.	図書・情報スペース	34
2.	情報誌「ここいろ」発行	36
3.	就労支援情報コーナー	36
4.	ホームページによる情報発信	37
5.	SNS による情報発信	37
VII	研修	38

I 伊丹市立男女共同参画センターの概要

1 設置目的

伊丹市立男女共同参画センターは、伊丹市の男女共同参画の拠点施設として、女性を始め多様な市民が、気軽に足を運び、男女共同参画に関し、学び、交流できる場を提供することにより、市民が自ら意識を変え、日々の生活の中で行動を起こして、男女の対等な社会参画と、誰もが自分らしい生き方を実現できる社会の形成を目指して設立されました。女性だけでなく、男女共同参画社会の推進の重要な担い手である男性と事業者の参加促進と、個人の性別、年齢等の属性やライフスタイル、価値観の多様性の尊重への理解促進に配慮して、事業を運営します。

2 センターの愛称

伊丹市立男女共同参画センターの愛称「ここいろ」は、令和元年（2019年）9月15日から10月4日までの期間、市ホームページ、広報紙などで募集し、全国291名の方から計557件の応募の中から、愛称選考委員会の審査で決定しました。センターが、一人ひとり（ここ＝個々）が自分の色（いろ）を彩ることのできる拠点施設であることを願って名付けられました。

3 施設の概要

- (1) 名 称 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ
- (2) 所 在 地 〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 2-2-2 伊丹商工プラザ 5F
- (3) 所 有 者 伊丹市
- (4) 運 営 指定管理者 NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西
設 立 平成 12 年度（2000 年）
- (5) 建物の概要 鉄骨鉄筋コンクリート造
地上 6 階地下 1 階建「伊丹商工プラザ」5 階部分
- (6) 開設年月日 令和 2 年（2020 年）4 月 1 日

4 管理運営

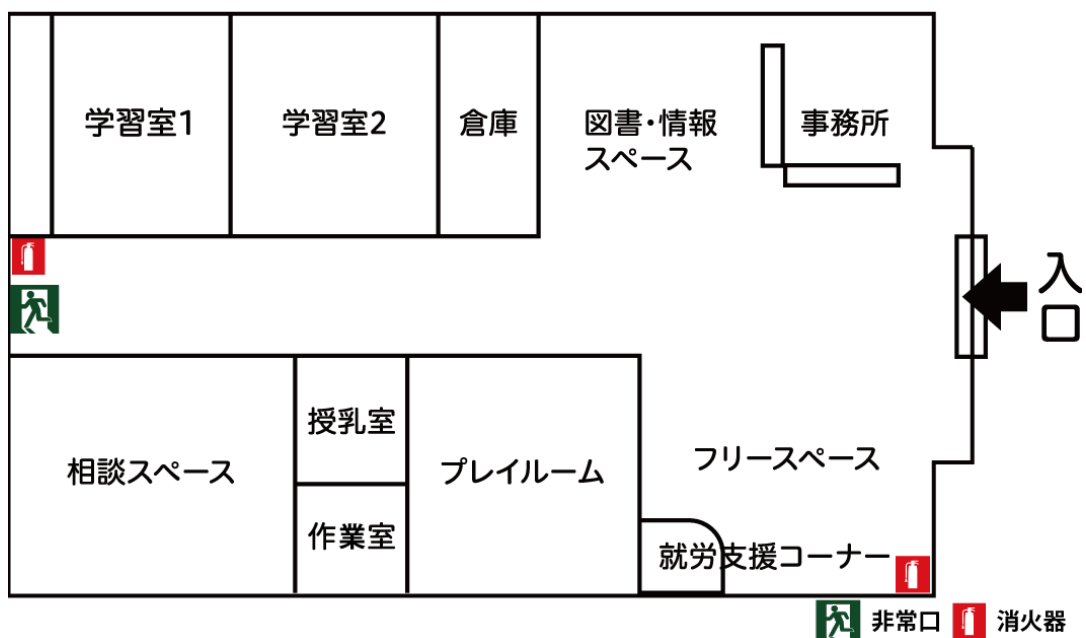
- (1) 開館時間
月曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日 9:00～17:30 月 1 回 第 1 日曜（5, 11 月は第 3 日曜）
- (2) 休 館 日
日曜日（上記開館日除く）祝日
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

5 センターの組織

理事長	1 人（非常勤）	女性
理事	1 人（非常勤）	女性
センター長	1 人（常勤）	女性
相談・事業・利用促進担当	1 人（常勤）	女性
利用促進・事業担当	1 人（非常勤）	女性
総務	1 人（非常勤）	女性
総務アシスト、情報担当	1 人（非常勤）	女性
全体アシスト	1 人（非常勤）	女性
アルバイト	3 人	女性
アルバイト	1 人	男性

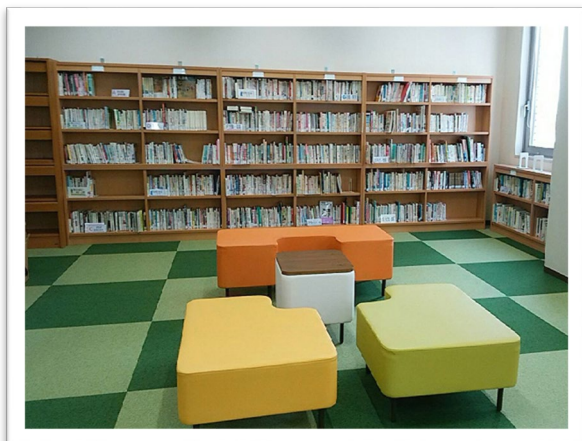
6 施設の平面図

男女共同参画センター 平面図



床面積：606.454 m²（専有部分 399.282 m²、共有部分 207.172 m²）

図書・情報スペース



学習室

フリースペース



プレイルーム



相談室



就労支援コーナー



7 施設の内容

室名	面積 (㎡)	定員 (人)	設備						
			机	いす	WB	S	演台	音響 装置	その他
学習室 1	33	18	9	18	可動 1	—	1	有線 1 (MC1)	プロジェクター /DVD デッキ
学習室 2	40	24	12	24	可動 1	常設		無線 1 (MC2)	
プレイルーム	63	—	—						
作業室	9	—	—						
授乳室	6	—	ベビーベッド 授乳椅子 テーブル スタンドミラー						
相談室 1	17	—	机 1 椅子 4						
相談室 2	17	—	机 1 椅子 4						
待合室 1	4	—	長椅子 1						
待合室 2	4	—	長椅子 1						
図書・情報スペース	55	—	ロビー椅子 3 テーブル 1						
フリースペース	70	—	閲覧テーブル 6 椅子 24 (12)						
就労支援コーナー			長机 2 椅子 4						
事務所	36	—	—						
倉庫	20	—	—						
廊下など		—	—						

WB：ホワイトボード S：スクリーン

8 貸出施設（学習室・プレイルーム）の利用

区 分	申請者	申請手続で きる期間	活動内容及び利用料金
非営利 活動	利用登録 団体	3 カ月前の 月の初日か ら 3 日前ま で	センター登録団体が営利を目的としないで利用するとき。登 録団体減免料金を適用。
	一般 グルー プ・企業・ 個人		伊丹市内に居住する 60 歳以上の者又は 60 歳以上の者が主た る構成員である団体が、平日の 9 時から 17 時半において、営 利を目的としないで使用するとき。高齢者減免料金を適用。
			伊丹市内に居住する身体障がい者（児）、知的障がい者 （児）又は精神障がい者（児）及びその介護者又はこれら の者が過半数である団体が、営利を目的としないで使用す るとき。障がい者減免料金を適用。
			市内の方または団体が使用するとき。基本料金を適用。
営利活動			営利目的の場合、使用料は、非営利目的の場合の 1.5 倍

- ・ 市内料金 申請者個人の住所、法人の所在地が伊丹市内であること。基本料金を適用。
- ・ 市外料金 市内料金に該当しない方ー基本料金の 1.5 倍。

9 利用料金

	区分	午前	午後			午前＋午後
	時間帯	9時～12時	13時～15時	15時半～17時半	13時～17時半	9時～15時
学習室1 (定員18人)	基本料金	900	600	600	1,200	1,500
	市外非営利/市内営利	1,350	900	900	1,800	2,250
	市外営利	2,020	1,350	1,350	2,700	3,370
学習室2 (定員24人)	基本料金	1,200	800	800	1,600	2,000
	市外非営利/市内営利	1,800	1,200	1,200	2,400	3,000
	市外営利	2,700	1,800	1,800	3,600	4,500
プレイルーム	基本料金	2,100	1,400	1,400	2,800	3,500
	市外非営利/市内営利	3,150	2,100	2,100	4,200	5,250
	市外営利	4,720	3,150	3,150	6,300	7,870
プロジェク ター/DVD	基本料金	600	400	400	800	1,000
	市外非営利/市内営利	900	600	600	1,200	1,500
	市外営利	1,350	900	900	1,800	2,250
マイク アンプ	基本料金	600	400	400	800	1,000
	市外非営利/市内営利	900	600	600	1,200	1,500
	市外営利	1,350	900	900	1,800	2,250

	区分	午前＋午後	午後＋夜間		夜間 (日曜除く)	終日
	時間帯	9時～17時半	13時～21時	15時半～21時	18時～21時	9時～21時
学習室1 (定員18人)	基本料金	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外非営利/市内営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500
	市外営利	4,720	4,720	3,370	2,020	6,750
学習室2 (定員24人)	基本料金	2,800	2,800	2,000	1,200	4,000
	市外非営利/市内営利	4,200	4,200	3,000	1,800	6,000
	市外営利	6,300	6,300	4,500	2,700	9,000
プレイルーム	基本料金	4,900	4,900	3,500	2,100	7,000
	市外非営利/市内営利	7,350	7,350	5,250	3,150	10,500
	市外営利	11,020	11,020	7,870	4,720	15,750
プロジェク ター/DVD	基本料金	1,400	1,400	1,000	600	2,000
	市外非営利/市内営利	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500
マイク アンプ	基本料金	1,400	1,400	1,000	600	2,000
	市外非営利/市内営利	2,100	2,100	1,500	900	3,000
	市外営利	3,150	3,150	2,250	1,350	4,500

Ⅱ 施設の利用状況

1 開館日数

令和6年4月～令和7年3月 305日（定期休館54日 年末年始休館6日）

2 月別利用状況

	施設営業日 (平日)	施設営業日 (日曜)	稼働率				来館者数			合計
			学習室1	学習室2	学習室 1・2	プレイ ルーム	女性	男性	その他	
4月	25	1	24.7%	16.9%	9.1%	55.8%	1170	377	2	1549
5月	24	1	25.7%	17.6%	10.8%	60.8%	1179	381	0	1560
6月	25	1	16.9%	14.3%	7.8%	61.0%	1223	438	2	1663
7月	26	1	22.5%	11.3%	5.0%	58.8%	1341	553	3	1897
8月	26	1	11.3%	16.3%	5.0%	58.8%	1111	462	1	1574
9月	23	1	26.8%	14.1%	5.6%	57.7%	1286	481	0	1767
10月	26	1	26.3%	20.0%	13.8%	63.8%	1442	497	0	1939
11月	24	1	29.7%	27.0%	17.6%	62.2%	1342	528	1	1871
12月	24	1	24.3%	21.6%	14.9%	58.1%	1077	428	0	1505
1月	23	1	15.5%	16.9%	8.5%	62.0%	1098	451	0	1549
2月	22	1	29.4%	26.5%	14.7%	63.2%	1175	576	0	1751
3月	25	1	24.7%	23.4%	11.7%	54.5%	1404	687	0	2091
年間	293	12	208	169	93	539	14848	5859	9	20716

3 利用区分・施設別件数

	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
学習室 1	事業	1			2		1							4	115
	登録団体				2				1			1		4	
	貸室・その他	11	11	7	10	5	14	10	8	7	5	9	10	107	
	月合計	12	11	7	14	5	15	10	9	7	5	10	10		
学習室 2	事業	2			2	2			2	1	1			10	76
	登録団体			1										1	
	貸室・その他	4	5	4	3	7	6	5	5	4	5	8	9	65	
	月合計	6	5	5	5	9	6	5	7	5	6	8	9		
学習室 1・2	事業	6	8	4	3	1	4	8	5	6	3	5	3	56	93
	登録団体													0	
	貸室・その他	1		2	1	3		3	8	5	3	5	6	37	
	月合計	7	8	6	4	4	4	11	13	11	6	10	9		
プレイルーム	事業	1	3	3	4	1	1	5	4	3	1	3	2	31	539
	登録団体													0	
	貸室・その他	42	42	44	43	46	40	46	42	40	43	40	40	508	
	月合計	43	45	47	47	47	41	51	46	43	44	43	42		
フリースペース図書・情報コーナー	事業								1	1	1		1	4	15
	登録団体													0	
	相談・その他	1		1	1	1	1	1	2		1	1	1	11	
	月合計	1	0	1	1	1	1	1	3	1	2	1	2		
相談室 1・2	相談	16	14	16	16	15	15	15	14	16	14	14	17	182	185
	事業（保育）					1		2						3	
	月合計	16	14	16	16	16	15	17	14	16	14	14	17		
合計		85	83	82	87	82	82	95	92	83	77	86	89	0	
(再掲) 利用区分別利用件数															
利用区分別	事業	10	11	7	11	4	6	13	12	11	6	8	6	105	1020
	登録団体	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	0	5	
	貸室・その他	58	58	57	57	61	60	64	63	56	56	62	65	717	
	相談	17	14	17	17	16	16	16	16	16	15	15	18	193	
合計		85	83	82	87	81	82	93	92	83	77	86	89	1020	

※むっくむっく件数は利用日数 x 2（午前＋午後）

Ⅲ 啓発業務と講座等の開催

令和6年度実施 学習・啓発事業一覧

		内容	日時	定員	申込	参加	保育
講演会	男女共同参画推進セミナー	自分には関係ない??「ケア中心の社会」とは	6月22日(土)13:30～15:30	30	26	23	1
	ミモザの日 セミナー	人生100年時代 年金とジェンダー	3月2日(日)14:00～16:00	25	19	13	
啓発事業	こころジェンダー講座①	災害とジェンダー課題～災害を女性の視点から検証する～	5月11日(土)10:00～12:00	30	32	17	0
		ジェンダーをめぐる男性の抱える悩みと生きづらさ	5月18日(土)10:00～12:00		32	14	0
		CMの女性像から考えるメディアのジェンダー表現	5月25日(土)10:00～12:00		32	13	0
	女性学講座(3回)①②⑤	わたしのからだはわたしのもの 一生つきあう自分のからだ	1月20日(月)10:00～12:00	25	17	12	1
		わたしのからだはわたしのもの 知っておきたい女性特有の病気	1月27日(月)10:00～12:00		17	8	0
		わたしのからだはわたしのもの 更年期の心とからだ	2月3日(月)10:00～12:00		17	13	1
	男性セミナー(3回)⑥	‘ハラスメント’じゃない 伝え方	4月13日(土)14:00～16:00	20	6	4	0
		～実践! 男性のための感情表現ワークショップ～	4月20日(土)14:00～16:00		6	3	0
		子育てを語ってみよう こころいばばサロン	7月6日(土)10:00～12:00		15	2	1
	就労支援講座(4回)③	自分らしく働くために 自分を知り自己理解を深める	10月10日(木)10:00～12:00	20	11	8	2
		コミュニケーションについて考える	10月17日(木)10:00～12:00		11	10	4
		「気づき」を行動につなげる	10月24日(木)10:00～12:00		11	7	4
	生き方アップデート講座(5回)②③④⑤	女性のための就労支援セミナー 私らしく働きはじめるために	2月19日(水)10:00～12:00	15	12	12	2
		こころいばば音楽会 ～フルートと小さなハーブのひととき～(鳴く虫と郷町連携企画)	9月10日(火)16:00～	親子15組	30	23	
			9月10日(火)18:30～	30	39	27	
	メディアリテラシー講座(3回)①②③	映画から考えるジェンダー 映画上映&トーク ガーダ バレスチナの歌 昼の部	4月6日(土)14:00～15:50	25	10	9	
		映画から考えるジェンダー 映画上映&トーク ガーダ バレスチナの歌 夜の部	4月6日(土)18:00～19:50	25	10	9	
		映画から考えるジェンダー 映画上映&トーク わたしのお母さん	9月13日(金)18:00～20:10	20	26	18	
	自分発見講座(4回)④⑦	映画から考えるジェンダー 映画上映 世界のはしっこ、小さな教室	2月7日(金)18:30～20:00	20	8	6	
		メディア・リテラシー入門	12月7日(土)13:30～15:30	20	15	8	0
		ドラマとジェンダー	12月14日(土)13:30～15:30		15	7	0
	子育て支援講座(5回)①②③	ジェンダー視点でニュースを見る	12月21日(土)13:30～15:30		15	11	0
		ストレス・マネジメント講座 ストレスについて知る	9月30日(月)10:00～12:00	25	26	19	4
		自分のストレスに気づく	10月7日(月)10:00～12:00		26	20	6
	若者対象講座(4回)⑤⑥⑦	何がストレス状態を作るかを知る	10月21日(月)10:00～12:00		26	15	3
		対処法を考える	10月28日(月)10:00～12:00	20	26	15	4
		概論 スター・ベアレンディングとは・問題を避ける	11月11日(月)10:00～12:00		13	10	7
	こころからた講座(3回)⑦	良い行動を見つける	11月18日(月)10:00～12:00	20	13	8	4
		感情を認める	11月25日(月)10:00～12:00		13	10	5
		限度を調べる	12月2日(月)10:00～12:00		13	7	5
	自立促進講座(4回)②③	新しいスキルを教える まとめ	12月9日(月)10:00～12:00	20	13	8	6
		CAPおとなワークショップ	8月4日(日)14:00～15:30		6	7	1
		CAP子どもワークショップ	8月4日(日)14:00～15:30		15	6	5
市民企画講座	ミモザの日	働きたくても働けない若者のリアルな話	1月18日(土)10:00～12:00	25	15	14	
		個別相談	1月18日(土)13:00～15:00	4	4	4	
		季節ごとの養生 秋に向けての養生	10月6日(日)10:00～12:00	15	27	12	2
		冬に向けての養生	11月17日(日)10:00～12:00	15	27	14	2
		早い春に向けての養生	2月2日(日)10:00～12:00	15	27	8	0
	事業対象講座(1回)⑧	多様な人材から選ばれる会社の求人票作成術	2月5日(水)14:00～16:00	20	7	9	0
		動いて、感じて、アクションワーク	6月6日(木)10:00～12:00	15	17	11	1
			6月20日(木)10:00～12:00		17	7	1
			7月4日(木)10:00～12:00		17	9	2
			7月18日(木)10:00～12:00		17	7	0
市民活動及び交流	こころサークル発案 助産師まゆさんと学ぶ小学生と保護者のための性教育講座	こころサークル	3月2日(日)10:00～11:30	小学生と保護者10組		22	
		おもちゃの広場	3月2日(日)10:00～11:30	親子6組		28	
		ハルンアートに挑戦!	3月2日(日)10:00～13:00			58	
		ファミリーあんしん防災講座	3月2日(日)12:30～14:00	15		7	
		こころサークル発案 出張「漫画を語ろう」featuringことば蔵	3月2日(日)13:30～15:00			7	
	市民活動及び交流	展示・ニットカフェ/ジェンダー俳句選	3月3日(日)10:00～16:00			103	
		こころ市民会議 こころサークル	年4回開催 ミーティング			24	
		こころカフェ	年2回開催			8	
		エンパワメントカフェ	年1回開催			5	
		ニットカフェ@こころ	年4回開催			45	
		健康カフェ@こころ	年1回開催			8	

- ①多様性理解：性別、障がい、国籍等、多様性の尊重について理解し、自分らしい生き方を考える機会を提供する。
- ②男女共同参画：ジェンダー意識の認識、エンパワーメントなど、女性が自立して自分らしく生きるための知識、モチベーション向上させる。
- ③就労・起業支援：女性のライフステージや希望する働き方に応じた、就労、キャリアアップ、起業等による自立へのモチベーション向上を図る。
- ④自立促進：就労等していない女性の就労、キャリアアップ、起業等による自立へのモチベーション向上を図る。
- ⑤DV等予防：DV、ハラスメントについて理解し、その予防と、対応方法を学ぶ
- ⑥若年者対象：主に若年層の女性を対象に、デートDVその他性的暴力など身近な危険と、その対処方法を学ぶ。
- ⑦健康関連：心、体、性について考える機会を提供する。
- ⑧事業者対象：事業者を対象に、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍推進等のための管理職の意識改革や、先進的取り組みの紹介
- ⑨その他男女共同参画推進に関する講座

男女共同参画推進セミナー

事業名	自分には関係ない??「ケア中心の社会」とは
事業趣旨	ケアとは、弱者のための特別な営みではなく、私達の身の回りの日常に気づかないところで埋め込まれている。共に思いやる（caringwith）社会は、自分のことを信頼し、信頼できる仲間を作りながらともに関わり合うものである。豊かな関係性に基づく社会を作るために、「生産性至上主義」の社会から、一人一人が自分を大切にしながら他者を尊重しつなげる「ケア中心の社会」への転換を考える。
対象	テーマに関心のある方
講師	竹端 寛（兵庫県立大学 環境人間学部 教授）
募集	定員 30 人 申込み 26 人 受講者 23 人（女性 17 人、男性 6 人）
	保育 6 人 申込み 1 人 出席 1 人（女性 1 人）
参加費	無料
開催日時	6 月 22 日 土曜日 13:30～15:30
講座内容	私たちの身の回りには、誰かのケアがあるからこそうまく廻っている場面がある。自分のありのままを大切にする「ケア中心の社会」を一緒に考えていく。

ミモザの日講演会

事業名	人生 100 年時代 「年金とジェンダー」
事業趣旨	第 3 号被保険者が制定された 1986 年から現在の間で、ライフスタイルは大きく変化している。専業主婦が多かった時代から女性の社会進出が進み、夫婦共働き世帯やシングル女性が増加している。女性と年金については、従来から女性の年金受給額は男性の 3 分の 2 程度と言われてきた。年収の壁が女性の働く意欲を下げ、受け取る年金額も下げる。男女役割分業が課題である中で女性の生涯労働時間が少ないことも年金額を下げる。超高齢化社会で男性より寿命が長い女性の特に一人暮らしの女性の老後は厳しい。また遺族年金についても男女の間に差があるなど等、年金にまつわるジェンダー差は多くの問題を抱えている。人生 100 年時代の超高齢化社会にあって、誰もが関心を持つテーマである年金にまつわるジェンダー課題を検証する。
対象	テーマに関心のある方
講師	植田 香代子（うへだライフマネジメントオフィス代表）
募集	定員 25 人 申込み 19 人 受講者 13 人（女性 11 人、男性 2 人）
	保育 無し
参加費	無料
開催日時	2025 年 3 月 2 日 日曜日 14:00～16:00
講座内容	団塊世代が 75 歳の後期高齢者になり、労働人口の不足や社会保障費の膨らみが懸念される。女性のライフスタイルの変化に対応した年金のあり方も検討され、主婦年金の廃止も言われる。人生 100 年時代にあって家族や雇用構造の変化の中、年金とジェンダーの課題を考える。

事業名	ここいろジェンダー講座					
事業趣旨	世界各国の男女平等の度合いを数値化した世界経済フォーラム（WEF）による「ジェンダーギャップ指数 2023」※で、日本は世界 146 か国中 125 位と過去最低の結果となっている。昨年の 116 位から大きく後退し、依然として主要先進国（G7）のなかで最下位となった。ジェンダー平等の実現は喫緊の課題で、ジェンダー平等の達成には、制度を整えることだけでなく、社会に暮らす人々の意識と行動の変容が求められる。男女共同参画を推進するために、3 回に渡ってさまざまなデータや私たちの身近な問題から、ジェンダーについて考える。（※2023 年 6 月発表）					
対 象	テーマに関心のある方					
講 師	①正井 礼子 ②濱田 智崇 ③守 如子					
募 集	定員 30 人 申込み 32 人（女性 23 人、男性 9 人）受講者 ①17 人 ②14 人 ③13 人（延べ 44 人）					
	保育 6 人 申込み 0 人					
参 加 費	無料					
開催日時	5 月 11 日～25 日 各土曜日 各 10:00～12:00 全 3 回					
講座内容	タイトル		講 師	女	男	他
	① 5 月 11 日	災害とジェンダー課題 ～災害を女性の視点から検証する～	正井 礼子 (NPO 法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 代表理事)	14	3	0
	② 5 月 18 日	ジェンダーをめぐる男性の抱える 悩みと生きづらさ	濱田 智崇 (京都橘大学総合心理学部准教授)	9	5	0
	③ 5 月 25 日	CM の女性像から考えるメディアの ジェンダー表現	守 如子 (関西大学社会学部教授)	9	4	0

女性学講座

事業名	わたしのからだはわたしのもの		
事業趣旨	年齢や生活様式が違って、女性はみんな同じように自分のからだや性にまつわる不安や悩み、社会の中での生きづらさを抱えている。ウイメンズセンター大阪は1984年の結成以来、女性たちが専門家に一方的に頼るのではなく、お互いの知識や経験を持ち寄って、率直に語り合い自分たちで問題解決する力をつけることを目指してきた。ウイメンズセンター大阪に集い、関わる一人ひとりが求める興味や関心事を仲間と共に考え、学び、行動していくためのエンパワメントな場である。今講座では、ウイメンズセンター大阪のスタッフを講師に迎え、女性特有のホルモンバランスや更年期などについて学び、専門家の助言をもらいながら、他人任せにしないで、自分のからだを知り、からだについての不安や悩みを抱えた時の解決法を考える。		
対 象	テーマに関心のある女性		
講 師	ウイメンズセンター大阪 國安澄江、藤田実由貴		
募 集	定員 25 人 申込み 17 人（女性 17 人） 受講者①12 人 ②8 人 ③13 人（延べ 33 人）		
	保育 6 人 申込み 1 人 出席①1 人 ②0 人 ③1 人		
参加費	無料		
開催日時	1 月 20 日～2 月 3 日 各月曜日 10:00～12:00 全 3 回		
講座内容	①1 月 20 日(月)	一生つきあう自分のからだ	國安澄江
	②1 月 27 日(月)	知っておきたい女性特有の病気	國安澄江
	③2 月 3 日(月)	更年期の心とからだ	藤田実由貴

男性セミナー

事業名	‘ハラスメント’ じゃない 伝え方 ～実践！男性のための感情表現ワークショップ～		
事業趣旨	「ハラスメント」には、「パワハラ」のように法令によって内容が定義されているものや、定義がないものも含めると 50 種類以上とも言われている。「モラハラ」は「モラル・ハラスメント」の略で、言葉や態度による嫌がらせを行い相手に精神的苦痛を与える「見えない暴力」である。男性は、相手との論争に勝つために、一方的に自分の意見を主張することがあり、これでは相手との関係がうまくいかない。どうして、職場や家庭でハラスメントが起きてしまうのか。言葉や態度が与える影響、相手に配慮しながら自分の考えを率直に伝えるアサーティブな話し方、ハラスメント予防につなげるコミュニケーションを男性相談員と共に学ぶ。		
対 象	テーマに関心のある男性		
講 師	①福江敬介 ②安部 達彦、福満久晃（一般社団法人日本男性相談フォーラム理事）		
募 集	定員 20 人 申込み 6 人 受講者 ①4 人 ②3 人（延べ 7 人）		
	保育 6 人 申込み 0 人		
参加費	無料		
開催日時	4 月 13 日、20 日 土曜日 14:00～16:00		
講座内容	①4 月 13 日 ハラスメントとは ～モラハラ・パワハラが起きる背景～		
	②4 月 20 日 相手と通じあうために ～感情の表し方と伝え方～		

事業名	ここいろ パパサロン 子育てを語ってみよう
事業趣旨	子育てとは、これまでの思考や理屈が優先される理性的な世界とは異なり、「正解のない」ものである。不慣れな体験に、ときには混乱や戸惑いも生じるものであるが、半数の父親は「子育てについて知人と話をする」ことがほとんどなく、半数以上の人が夫婦間でもほとんど話さないか、週に1、2回程度話すだけであった（*）。思いを語ることは、同じような経験をしている人に勇気づけられ、自分の体験を振り返る貴重な機会となる。子育ては父親自身も成長するチャンスと捉え、男性が仕事でのスキルや経験とは違う世界の扉を開き、感情や身体感覚を大事にして、子育てについて率直に語り合う場をめざす。 *甲南大学人間科学研究所「育て！パパごころ」（2012年9月発行）より
対 象	子育て中の男性、プレパパなど
講 師	チームパパカフェ 福島 充人（臨床心理士）濱田智崇（臨床心理士） 新道賢一（臨床心理士）
募 集	定員 15 人 申込み 2 人 受講者 1 人
	保育 6 人 申込み 1 人 出席 1 人（女性 1 人）
参加費	無料
開催日時	7月6日 土曜日 10:00～12:00
講座内容	お茶を飲みながら、今まで話す機会がなかった「パパの子育て」についてパパどうしの語り合い。

就労支援講座

事業名	女性のための就労支援セミナー お仕事探しのまず一步
事業趣旨	ハローワーク伊丹にはマザーズコーナーが設置されており、センターの就労支援相談でも、子どもが大きくなってきたので新しい仕事を見つけない、出産・子育てがひと段落して働きたいが、ブランクがあるためどのように就職活動をしたらよいのか分からない、といった不安を抱える方の相談に専門相談員が対応している。センターの就労支援相談は、ハローワークへ行くにはハードルが高いと感じる方にも、気軽に利用して頂くことが出来るように開設されている。新年度に向けて、これから再就職をめざす女性、仕事と家庭を両立したい方に向けて、就職活動の一步となるようセミナーを実施する。
対象	テーマに関心のある女性
講師	ハローワーク伊丹 マザーズコーナー 就職支援ナビゲーター
募集	定員 15 人 申込み 12 人 受講者 12 人 保育 6 人 申込み 2 人 出席 2 人（男性 2 人）
参加費	無料
開催日時	2025 年 2 月 19 日 水曜日、10:00～12:00
講座内容	・価値観を考える「わがままカード」ワーク ・わたしってこんな人 ・ライフ・キャリアプランシート ・希望条件の整理 ・求人情報の見方 他

事業名	女性のための就労支援講座 自分らしく 働くために								
事業趣旨	総務省統計局が令和 6 年 1 月に発表した労働力調査によると、2023 年女性の就業者数は 3051 万人と前年に比べ 27 万人の増加となっている。しかしながら、相談業務においては、「自分に合う仕事が見つからない。」「良い仕事が見つかるか不安。」「今の仕事が自分に向いているのかわからない。」などと言う声がよく聞かれる。 そういう現状を踏まえ、今回の講座では、ライフイベントに区切りがついた時点で働くことを考え始めた女性や現在就労中の女性に対し、自分らしく働くために必要な情報・知識・スキルを伝えることによってエンパワメントを目指す。 (※雇用保険受給者の方は求職活動の実績となる。)								
対象	テーマに関心のある女性								
講師	尾庭 恵子（キャリアコンサルタント／合同会社響流 代表）								
募集	定員 20 人 申込み 11 人 受講者 ①8 人 ②10 人 ③7 人（延べ 25 人） 保育 6 人 申込み ①2 人 ②③4 人 出席 ①2 人（女性 2 人）②③4 人（女性 4 人）								
参加費	無料								
開催日時	10 月 10 日～24 日 各木曜日 10:00～12:00 全 3 回								
講座内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①10 月 10 日</td><td>自分を知り自己理解を深める</td></tr> <tr> <td>②10 月 17 日</td><td>コミュニケーションについて考える</td></tr> <tr> <td>③10 月 24 日</td><td>「気づき」を行動につなげる</td></tr> </tbody> </table>	開催日	内容	①10 月 10 日	自分を知り自己理解を深める	②10 月 17 日	コミュニケーションについて考える	③10 月 24 日	「気づき」を行動につなげる
開催日	内容								
①10 月 10 日	自分を知り自己理解を深める								
②10 月 17 日	コミュニケーションについて考える								
③10 月 24 日	「気づき」を行動につなげる								

生き方アップデート講座

1. 鳴く虫と郷町連携企画

事業名	ここいろ 鳴く虫音楽会 ～フルートと小さなハーブのひととき～
事業趣旨	心理的な回復効果もあると言われる虫の音と、音楽療法にも使われるフルートとハーブの音色の組み合わせで、心も身体も解きほぐされる時間を過ごす。 時間帯を分けたりマット席も用意して開催することにより、多様な市民を対象とし①は小さな子ども連れでも気兼ねなく生の楽器と虫の音色を楽しめる回、②は仕事帰りなどにも気軽に音楽を楽しみリラックスできる回とする。 2006年に始まった「鳴く虫と郷町」は、「虫聴き」を現代風にアレンジし、伊丹のまちで虫の音と秋を愛でる10日間。街中のさまざまな場所で行われるイベントに加わり、市内公共施設と連携することにより、ここいろを利用したことがない市民への周知効果も期待できる。ここいろが自分らしく過ごせる場所であると知ってもらうきっかけの一つとして、音楽会を開催する。 また、鳴く虫を楽しみながら利用できるフリースペースや図書コーナーの利用を促進する。
対象	①親子15組 ②30人
講師	行灯社（ちえみ：フルート、みほ：ハーブ&うた）
募集	定員 ①親子15組 ②30人 申込み ①計30人〈大人：13人（女性12人、男性1人） 子ども：17人（女性9人、男性8人）〉 ②計39人〈大人：34人（女性29人、男性5人） 子ども：5人（女性4人、男性1人）〉 受講者 ①計23人〈大人：10人（女性9人、男性1人） 子ども：13人（女性7人、男性6人）〉 ②計27人〈大人：23人（女性20人、男性3人） 子ども：4人（女性3人、男性1人）〉 保育なし
参加費	無料
開催日時	9月10日 火曜日 ①16:00～ ②18:30～

事業名	「鳴く虫の音が心地よいここいろフリースペース」 「虫×ジェンダー 関連図書コーナー」	
事業趣旨	9/6～9/15「鳴く虫と郷町」期間の関連イベントとして、フリースペースでの鳴く虫展示、図書コーナーでの関連図書展示を行い、施設の利用促進を図る。 2006年に始まった「鳴く虫と郷町」は、「虫聴き」を現代風にアレンジし、伊丹のまちで虫の音と秋を愛でる10日間。街中のさまざまな場所で行われるイベントに加わり、市内公共施設と連携することにより、ここいろを利用したことがない市民への周知効果も期待できる。ここいろが自分らしく過ごせる場所であると知ってもらうきっかけの一つとして、音楽会も開催する。	
内 容	日程・期間	内 容
	9月1日(日)～9月14日(土) ※休館日除く	フリースペースでの鳴く虫展示

	9月1日(日)～9月30日(月) ※休館日を除く	図書コーナーでの関連図書展示「虫×ジェンダー」
--	-----------------------------	-------------------------

2. 映画から考えるジェンダー

事業名	映画上映「ガーダ・パレスチナの詩」 & トーク
事業趣旨	センターでは午後5時以降も利用出来る夜間開館をPRし、より多くのセンター利用促進をめざし、ジェンダー視点で選定した映画上映を行っている。 2023年10月に起きた軍事衝突から、パレスチナ・ガザ地区で無差別攻撃により死者が2万人を超えている。そのうち、多くの犠牲者は弱者である子どもや高齢者、女性である。イスラエルによるパレスチナ人への抑圧や暴力が増す一方で、家父長制が色濃い男性優位のアラブ社会では、女性の自由な外出、就労、就学などの権利が著しく制限されている現状があり、男性から女性に対する抑圧が強まっているという。「1日も早くガザの惨事を止めるために、ガザのことを知って欲しい」という古居みずえ監督の思いも受け、映画上映会を行う。
対 象	テーマに関心がある人
募 集	定員 各25人、①保育あり(申込み0人) ②保育なし ①申込み10(女性6、男性3) 受講者9人(女性6人、男性3人) ②申込み10(女性6人、男性4) 受講者10人(女性6人、男性3人)
参加費	無料
開催日時	4月6日 土曜日 ①14:00～15:50 ②18:00～19:50
内 容	フォトジャーナリスト古居みずえが、現代パレスチナ女性の生きざまをとらえたドキュメンタリー

事業名	映画上映「わたしのお母さん」 & トーク
対 象	テーマに関心がある人
募 集	定員 各20人、保育なし 申込み26人(女性20人、男性6) 受講者18人(女性15人、男性3人)
参加費	無料
開催日時	9月13日 金曜日 18:00～20:10 ※8月30日延期
内 容	誰よりも近いのに 誰よりも遠い母と娘の物語

事業名	「世界のはしっこ、ちいさな教室」 映画上映
対 象	テーマに関心がある人
募 集	定員 各20人、保育なし ①申込み8人(女性6人、男性2人) 受講者6人(女性4人、男性2人)
参加費	無料
開催日時	2025年2月7日 金曜日 18:30～20:00
内 容	辺境の地の教育の実情と赴いた3人の女性教師の奮闘と子どもたちの成長。

メディア・リテラシー講座

事業名	情報社会をジェンダー視点で読み解く メディア・リテラシー講座					
事業趣旨	メディア・リテラシーとは、テレビやインターネット、新聞など、メディアから発信される情報を、主体的に読み解き、活用し、発信する能力のことをいう。私たちの周りには情報があふれており、気づかないうちにその影響を受け、意識や行動を誘導されてしまう恐れがある。メディアとジェンダーについても同じで、メディアが描くジェンダーには「女性は家事や育児、男性は仕事」といった固定的な性別役割分業意識に基づいた表現が多く見られる。メディアにはジェンダー・バイアスがかかった表現が多く見られる。このようにメディアにはジェンダー・バイアスが潜んでいたり、私たち受け手を誘導する意図的なメッセージが含まれている。メディアの情報をうのみにせず、批判的に主体的に読み解く力を身につけることが欠かせない。メディアに振り回されることなく付き合っていくために、メディア・リテラシー力を高めることが必要である。					
対象	テーマに関心のある方					
講師	NPO 法人 FCT メディア・リテラシー研究所 ①田島 知之 ②西村 寿子 ③高橋 恭子					
募集	定員 20 人 申込み 15 人（女性 14 人、男性 1 人、その他 0 人） 受講者 ①8 人(女性 8 人男性 0 人) ②7 人（女性 7 人男性 0 人)③11 人(女性 10 人男性 1 人)（延べ 26 人）					
	保育 6 人 申込み 0 人					
参加費	無料					
開催日時	12 月 7 日～21 日 各土曜日 各 13:30～15:30 全 3 回					
講座内容	日	タイトル	講師	女	男	他
	①12 月 7 日	メディア・リテラシー入門	田島 知之	8	0	0
	②12 月 14 日	ドラマとジェンダー	西村 寿子	7	0	0
	③12 月 21 日	ジェンダー視点でニュースを見る	高橋 恭子	10	1	0
	計			25	1	0

ストレス・マネジメント講座

事業名	ストレス・マネジメント講座	
事業趣旨	ストレス・マネジメントとは、心とからだを理解し、どのように向き合うかは非常に重要である。特に女性の場合、子ども時代、シングルの頃、職場や家庭内、あらゆる場面において役割が異なり、ストレスフルな状況に陥りやすい。また生理不順や月経周期によってメンタルも左右される。いつもの自分と違う状況が長く続いたらSOSのサインでもある。現代社会におけるストレス・マネジメントの重要性から、ストレスについて学び、具体的な対処方法を得とくする連続講座である。 2021年度に実施し好評を得た。	
対 象	テーマに関心がある女性	
講 師	井山 里美（NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西 事務局長）	
募 集	定員 25 人申込み 26 人（女性 25 人男性 1 人） 受講者 ①19 人（女性 18 人男性 1 人）②20 人（女性 19 男性 1）③15 人（女性 14 男性 1） ④15 人（女性 14 男性 1）（延べ 99 人）	
	保育 定員 6 人 申込み ①③④ 5 人② 7 人 出席 ①4 人（女性 3 人男性 1 人） ②6 人（女性 5 男性 1）③3 人（女性 3 男性 0）④4 人（女性 4 男性 0） ※②のみ申込者の兄弟を受け入れ。	
開催日時	9 月 30 日～28 日 各月曜日 10:00～12:00 全 4 回	
講座内容	開催日	内 容
	① 9 月 30 日	ストレスについて知る
	②10 月 7 日	自分のストレスに気づく
	③10 月 21 日	何がストレス状態を作るかを知る
	④10 月 28 日	対処法を考える

子育て支援講座

事業名	スター・ペアレンティング講座 ～たたかず、甘やかさず、子育てする方法～		
事業趣旨	スター・ペアレンティングとは親子間、子ども同士で起こる問題解決プログラムである。子どもの発達段階と気質に合わせながら、スター・ペアレンティングの4つの段階と、5つのスキルを使い、問題を解決する。子育て中はイライラし、孤立しがちだが、ペアレンティング（親のあり方）を学び、親と子の関係を円滑にしていく。		
対 象	子育て中の方、子どもに関わるおとな 20人		
講 師	竹下 郁代、奥平 恭子（NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ）		
募 集	定員 20人 申込み 13人（女性12人男性1人） 受講者 ①10人(女性9人男性1人) ②8人(女性7人男性1人) ③10人(女性9人男性1人) ④7人(女性7人男性0人)⑤8人(女性7人男性1人) 延べ 43人		
	保育 6人 申込み 7人 出席 ① 7人 ② 4人 ③ 4人 ④ 5人 ⑤ 6人 延べ26人		
参加費	無料		
開催日時	11月11日～12月9日 各月曜日 10:00～12:00 全5回		
講座内容	開催日	内 容	講 師
	① 11月11日	概論 スター・ペアレンティングとは ・問題を避ける	奥平 恭子
	② 11月18日	良い行動を見つけ出す	奥平 恭子
	③ 11月25日	感情を認める	竹下 郁代
	④ 12月2日	限度を設ける	竹下 郁代
	⑤ 12月9日	新しいスキルを教える・まとめ	竹下 郁代

若者対象講座

事業名	はじめてのCAPワークショップ ～1・2年生対象～	
事業趣旨	CAP（Child Assault Prevention）とは、子どもが暴力から自分を守るための人権教育プログラムである。小学校1・2年生を対象とし、生きるために必要な3つの権利（安心・自信・自由）を教え、いじめや虐待、誘拐などの子どもへの暴力に対してどのように対応するかを一緒に考え、自分で自分を守る力を身につける。同時に大人ワークでは子どもを孤立させないために、子どもの内なる力を引き出すこと（エンパワメント）の重要性や、子どもをとりまく暴力について知り、子どもへの対応の仕方等の知識を深める。	
対 象	こどもワークショップ：小学1・2年生 おとなワークショップ：大人	
講 師	NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ	
募 集	定員 大人：20人 子ども：15人 申込み 大人：6人（女性5人、男性1人） 子ども：6人（女性5人、男性1人） 受講者 大人：7人（女性6人、男性1人） 子ども：5人（女性5人） 計14人	
	保育6人 申込み1人 出席1人（男性1人）	
参加費	無料	
開催日時	8月4日 日曜日 14:00～15:30	
講座内容	大人ワークショップ (学習室1・2)	「CAP（子どもへの暴力防止プログラム） ー子どもの力を引き出すプログラムについてー」 講師：應地 由起英、草間 麻子、應地 三都英
	子どもワークショップ (プレイルーム)	「子どもワークショップ あなたに」 講師：竹下 郁代、辰巳 ゆう子、奥田 千里

事業名	働きたくても働けない若者のリアルな話
事業趣旨	伊丹市の若者の就労支援も行っている若者サポートセンターによると、開所当初の 2013 年は男性の方が女性の 2 倍の利用者であったが、2018 年は女性の方が多くなった。利用対象者は 20 代と 30 代が約 90%を占めている。2020 年度からは「就職氷河期世代支援プログラム」の一貫として利用対象者が 49 歳までに拡大され、40 代の利用者も増えている、という。働きたくても働けない若者の事情は沢山あり、本人だけの責任ではない。働くことを目指している若者に寄り添い、サポートに取り組んでいるサポートステーションの職員を講師に迎えて、現状と課題、課題解決の策を考えるために、講座と個別相談で、当事者・保護者・支援者を対象に行う。
対 象	就職に悩む若者（15 歳から 49 歳）やその保護者、支援機関の関係者 25 人 個別相談 4 人
講 師	宝塚地域若者サポートステーション 総括コーディネーター藤田 かおり (聞き手：田上 時子)
募 集	定員 講義 25 人 個別相談 4 人 申込み 講義:15 人（女性 11 人、男性 4 人） 個別相談:4 人（女性 4 人） 受講者 講義:14 人（女性 11 人、男性 3 人） 個別相談:4 人（女性 4 人） 計 14 人
参加費	無料
開催日時	1 月 18 日 土曜日 講義 10:00～12:00 個別相談 13:00～15:00
講座内容	90 年代後半の就職氷河期以降、正規雇用の就労は悪化の一途である。こうした若者たちに対する社会応援が少ない中「働く」を目指している若者に寄り添い、そのサポートに取り組む、当事者・保護者・支援者を含め周りにいる大人たちが出来ることを考える。

こころとからだ講座

事業名	季節ごとの養生					
事業趣旨	「養生」とは、生活に留意して健康の増進を図ることをいう。季節が変われば、温度や湿度などの天候の変化や周囲の環境などで心身の状態も変わる。夏には熱中症にならないように、冬は風邪をひかないためにからだを整える。その時の「気」を読みながら、環境による心身への影響を最小限にするための養生の仕方（呼吸法、気について、気功、東洋医学の観点からのからだ）について学ぶ。					
対象	テーマに関心のある方					
講師	西川やすこ（気功講師）					
募集	定員 各 15 人 申込み 27 人（女性 27 人）					
	保育 各 6 人 申込み 2 人 出席①2 人(女性 2) ②2 人(女性 2) ③0 人					
参加費	無料					
開催日時	①10 月 6 日（台風接近のため 9 月 1 日より延期） ②11 月 17 日 ③2 月 2 日 各日曜日、10:30～12:00 全 3 回					
講座内容	開催日	内 容	女性	男性	その他	計
	①10 月 6 日	秋に向けての養生	12	0	0	12
	②11 月 17 日	冬への養生	14	0	0	14
	③2 月 2 日	早い春への養生	8	0	0	8
	合 計		34	0	0	34

事業者対象講座

事業名	多様な人材から選ばれる会社の求人票作成術
事業趣旨	労働力人口が減少するなか、特に中小企業においては「欲しい人材が採用できない」どころか「求人しても応募がない」という厳しい人材難に直面している。一方でセンターでは就労支援相談やチャレンジ相談、就労支援講座に例年 100 名前後の就労の意思を持つ女性が参加している。多くの女性にとって職住近接はメリットが大きく、地域の企業にとっても地域の女性は貴重な人材である。地域の人材と企業を結び、市の事業者表彰など女性に選ばれる施策も紹介し、市内の事業者の男女共同参画推進をサポートする。
対象	事業者、テーマに関心のある方
講師	野間 信行（社労士 Office Heart Rock 代表）
募集	定員 20 人 申込み 7 人 受講者 9 人（女性 6 人、男性 3 人） 保育 6 人 申込み 0 人
参加費	無料
開催日時	2 月 5 日 水曜日 14:00～16:00
講座内容	データをわかりやすく解析し、「超・人手不足時代」における求人の現状を伝え、自社が欲しい人材に伝わり、心に響き、応募を呼び込む求人票の作成について、具体的なノウハウをもとに説明する。

自立促進講座

事業名	動いて、感じて、アクションワーク
事業趣旨	社会的に自立するうえで必要な要素に、「境界線」「所属感」「感情」「肯定的な力」の 4 つがある。加速度的に激変する社会にあっても、自分で感じ（感情を受け止め）、自分で考え（誰かのいいなりになるのではなく）、自分で行動する（自分で決定する）力が求められる。演劇の手法を取り入れたアクションワークは、体を使って、ジェンダー、自身の感情や考え方、アイデアを探るのに有益である。心と体をほぐし、感情に向き合い、自らをエンパワメントすることを学ぶ。
対象	テーマに関心がある方
講師	川崎 眞美（ワークショップデザイナー）
募集	定員 15 人 申込み 17 人 受講者 ①11 人 ②7 人 ③9 人 ④7 人（延べ 34 人） 保育 6 人 申込み 1 人 出席 ①1 人 ②1 人 ③2 人 ④0 人
開催日時	6 月 6 日、20 日、7 月 4 日、18 日 各木曜日 10:00～12:00 全 4 回
講座内容	ストレス、ジェンダー、力、エンパワメントとテーマを設けた。各回とも導入で、呼吸を整える。ポーズで自己紹介をするなど熟考せずとっさに体で表現することを取り入れた。自分の体を使って「ストレス」一年間で一番印象に残った場面を像にし（彫刻）、イス7脚を用いて「力」を表現し、表現者以外はそれらを見てどのように感じたか話す。

ここいろミモザの日

事業名	ここいろ ミモザの日					
事業趣旨	伊丹市立男女共同参画センター「ここいろ」を広く市民に周知し、男女共同参画社会実現のための啓発、市民ネットワークや登録グループ、ボランティアグループ等との協働、交流を図る。国連が制定した国際女性デー（3月8日）に合わせて、「ここいろ ミモザの日」として、講座・イベント・展示を実施する。					
開催日時	2025年3月2日（日）10:00～16:00					
参加者数	250人					
時間・会場	区分	イベント名	講師・グループ名等	参加者	女性	男性
10:00～ 11:30 学1・2	市民企画	助産師まゆさんと学ぶ小学生と保護者のための性教育講座	田中まゆ	22	19	3
10:00～ 11:30 プレイルーム	ミモザの日企画	おもちゃの広場	田房 加代 竹之下 和美	28	17	11
12:00～ 13:00 学1・2	(伊丹市)	伊丹市男女共同参画施策市民ワークショップ 報告会	伊丹市男女共同参画施策市民ワークショップ	12	8	4
12:30～ 14:00 プレイルーム	市民企画	ファミリーあんしん防災講座	宮崎涼二 (イタミライフキーパー)	7	6	1
10:00～ 13:00 図書スペース	市民企画	バルーンアートに挑戦！！	ふわふわアートチェリー	58	40	18
13:30～ 15:00 図書スペース	市民企画	出張「漫画を語ろう」 featuring ことば蔵	ことば蔵まんが部 倉田組	7	2	5
14:00～ 16:00 学1・2	ミモザの日講演	人生100年時代 年金とジェンダー	植田香代子	13	11	2
10:00～16:00 フリースペース		ぶちばとー@ここいろ 10:00～14:00 展示：ニットカフェ 展示：ジェンダー俳句選	ぶちばとー、ニットカフェ、 俳句結社うぐいす伊丹 スワン句会	103	69	34
合計				250	172	78

Ⅳ市民活動及び交流の支援

事業名	ここいろエンパワメントカフェ
事業趣旨	伊丹市立男女共同参画センター ここいろ は、2020 年 4 月に、誰もが自分らしく生きられる社会づくりの拠点として開設され、市民活動や子育てグループ等の活動拠点として集える施設になるように、気軽にお茶を飲みながら話し合えるカフェ形式の「ここいろカフェ」を実施してきた。今年度も登録団体と協働し、より男女共同参画の推進、ジェンダー理解を深めていくために、「ここいろエンパワメントカフェ」を実施する。
対 象	テーマに関心のある方
ファシリテーター	むこがわ CAP スタッフ
募 集	定員 15 人 申込み 5 人（女性 3 人、男性 2 人） 受講者 5 人（女性 3 人、男性 2 人） 保育なし（子ども連れ参加可）
参加費	無料
開催日時	6 月 1 日 土曜日
講座内容	「子どもの権利を守ろう」ー子どもを性被害から守るためにー

事業名	ここいろカフェ・ニットカフェ@ここいろ・健康カフェ@ここいろ								
事業趣旨	誰もが自分らしく生きられる社会づくりの拠点として 2020 年 4 月に伊丹市立男女共同参画センター ここいろが開設され、市民活動や子育てグループ等の活動拠点として集える施設になるよう、気軽にお茶を飲みながら話し合えるカフェ形式の「ここいろカフェ」を実施してきた。今年度も、センターが広く市民に認知され、気軽に集い、語り合える場所となるよう、「ここいろカフェ」を実施する。								
対 象	テーマに関心のある方 各回 10 人								
ファシリテーター	①②竹下 郁代(NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西スタッフ) ③④⑤⑥元見 三郎(元市内有名手芸店店長)、吉川 順子 ⑦西川 靖子(気功講師)								
参加費	無料								
保 育	なし(子ども連れの参加可)								
開催日時	5 月 20 日(月)、7 月 22 日(月)、10 月 12 日(土)、11 月 9 日(土)、12 月 14 日(土)、 2025 年 1 月 11 日(土)、3 月 22 日(土) 全 7 回								
内 容	日 時		テ ー マ	申込	参加	女	男	他	子
	①	5 月 20 日(月) 10:30~15:00	ここいろカフェ 子どもの心をしずめる方法	4	4	2	2	0	1
	②	7 月 22 日(月) 10:30~15:00	ここいろカフェ 孫との関係	5	4	4	0	0	1
	③	10 月 12 日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ①	16	13	13	0	0	0
	④	11 月 9 日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ②	18	8	8	0	0	0
	⑤	12 月 14 日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ③	23	11	11	0	0	0
	⑥	1 月 11 日(土) 13:00~15:00	ニットカフェ@ここいろ ④	28	13	13	0	0	0
	⑦	3 月 22 日(土) 10:30~12:00	健康カフェ@ここいろ	10	8	8	0	0	0
計				104	61	59	2	0	2

事業名	ここいろ市民ネット会議 ここサークル	
事業趣旨	令和 4 年度に発足した年齢、性別を問わず、個人や団体・グループ間で、情報交換や交流を図る男女共同参画のネットワーク会議	
対 象	ネットワークメンバーとここいろに関心のある方	
募 集	参加者 ①11 人(女性 8、男性 3)②5 人(女性 1、男性 3、その他 1) ③3 人(女性 1、男性 2)④5 人(女性 2、男性 3)	
	保育 なし	
参加費	無料	
開催日時	①4 月 7 日②7 月 7 日③10 月 6 日④1 月 5 日 日曜日 10:00~11:30	

内 容	(1)センター事業へのフィードバック 意見・要望 事業提案 (2)ジェンダー課題についてのフリーディスカッション
成 果	令和6年度末の登録数は2団体25個人となった。 ここサークル企画提案講座としてはミモザの日に開催した、「助産師まゆさんと学ぶ、小学生と保護者のための性教育講座」と「出張漫画を語ろう featuring ことば蔵」を実施。企画提案講座以外にも、メンバーを講師に迎えての防災講座、企画展示として「ジェンダー俳句選」を実施した。 令和6年度からは、メンバーがファシリテーターを務めるフリースペースを活用したカフェの集い「ニットカフェ@ここいろ」がスタートし、好評につき令和7年度も継続がきまり、さらに本年度外部ファシリテーターを依頼してスタートした「健康カフェ@ここいろ」は次年度後半にはサークルメンバーがファシリテーターを務める予定であるなど滑動の幅が広がっている。

事業名	女性に対する暴力をなくす運動 ここいろパープルリボンツリー メッセージ募集・メッセージツリー展示	
事業趣旨	DV(ドメスティック・バイオレンス)や、家庭内や個人的な関係において行われるため、潜在化しやすい傾向がある。配偶者から何らかの被害を受けたことのある女性のうち、約4割はどこにも、誰にも相談していなかったことが内閣府調査で明らかになっている。DVや性暴力、ストーカー行為など女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、いかなる理由があっても許されるものではない。「女性に対する暴力をなくす運動」への周知・理解を深めるため、DVや性暴力のない社会に向けて、一言メッセージの募集、メッセージツリーの展示を行う。併せて、パープルリボンしおりを作成・配布し、啓発活動を行う。(パープルリボンは、女性に対する暴力をなくす運動のシンボルである。)	
内 容	日程・期間	内 容
	11月1日～11月25日	メッセージ募集 (窓口、HP、Facebook、Instagramで受付)
	11月12日～12月25日	パープルリボンしおり配布 (フリースペース、受付) パープルリボン・メッセージツリー展示 (フリースペース)



V 相談事業

家制度や社会的制度・慣習などの中で、女性は自分の人生を夫など他者に委ねざるを得なかったという歴史がある。今なお続く固定的性別役割分業に基づく社会通念や価値観によって、女性は生きにくい状況にある。これは個人の問題でなく、女性共有の悩みであると同時に社会的な問題でもある。その中で女性が自らの悩みを主体的に解決しエンパワメントするためにサポートすることを目的とし、相談事業を運営する。

1 女性のための相談

- (1) 女性のためのカウンセリング 相談時間 1人50分
実施日 第1～4火曜日 10:00～14:00 第2・第4金曜日 16:00～20:00 ※一時保育つき
女性相談員
- (2) 女性のための悩み電話相談
実施日 毎週月曜日、第1日曜日 10:00～14:00
直通電話 072-781-5531
女性相談員
- (3) 女性のためのチャレンジ相談 相談時間 1人50分
実施日 毎月第2木曜日（原則） 10:00～14:00 ※一時保育つき
女性相談員
- (4) 女性のための法律相談 相談時間 1人45分
実施日 毎月第4土曜日（原則） 10:00～13:00 ※一時保育つき
相談員 弁護士（女性）

2 男性のための悩み電話相談

実施日 毎月第1土曜日（原則） 15:00～18:00
直通電話 072-781-5532

3 セクシュアルマイノリティ相談

- (1) 電話相談 実施日 第1・第3金曜日 15:00～18:00
直通電話 072-767-1012
- (2) メール相談 随時受付



4 就労支援相談 相談時間 1人50分

実施日 偶数月…第4金曜日、奇数月…第2水曜日 ・ 第4金曜日（原則） 9:00～12:00
相談員 ハローワークマザーズコーナー職員

5 グループカウンセリング 6回 1セット 年2回

4月17日、24日、5月1日、8日、15日、22日 各水曜日 10:00～12:00

「わたしの中の“生きづらさ”」

10月11日、25日、11月8日、22日、12月13日、27日 第2・第4金曜日 18:30～20:30

「シングル女性の働き方・生き方」

相談事業実施件数

月別相談件数集計表

月	カウンセリング		女性電話		法律		チャレンジ		男性電話		セクシュアルマイノリティ		合計	
	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数
4月	6	21	5	8	1	3	1	4	1	4	2	6	16	46
5月	6	21	3	8	1	2	1	3	1	3	1	3	13	40
6月	6	22	5	11	1	1	1	4	1	6	2	4	16	48
7月	6	21	5	10	1	3	1	2	1	4	2	5	16	45
8月	6	21	4	11	1	2	1	3	1	3	2	6	15	46
9月	6	20	4	11	1	4	1	3	1	2	2	5	15	45
10月	6	20	4	14	1	4	1	4	1	2	2	5	15	49
11月	6	21	3	9	1	2	1	3	1	3	2	7	14	45
12月	6	21	5	17	1	1	1	2	1	2	2	4	16	47
1月	6	19	4	6	1	2	1	2	1	2	1	2	14	33
2月	5	18	4	8	1	2	1	1	1	1	2	5	14	35
3月	6	20	6	17	1	2	1	2	1	1	2	5	17	47
合計	71	245	52	130	12	28	12	33	12	33	22	57	181	526

女性のためのカウンセリング相談

事業名	女性のためのカウンセリング
事業趣旨	生きていく上で直面するさまざまな悩みや迷いなどの気持ちに寄り添い、自身の力を大切にしながら、次の一步を踏み出すサポートをする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 第1～4火曜日 10:00～、11:00～、12:00～、13:00～ 第2・4金曜日 16:00～、17:00～、18:00～、19:00～ （各50分）
利用状況	利用件数 245件（詳細は別表）

女性のための法律相談

事業名	女性のための法律相談
事業趣旨	法律の知識が必要な問題に女性の視点にたった弁護士が対応する。
対象	離婚や女性に対する暴力等法的な問題を抱える女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 毎月第4土曜日 10:00～、10:45～、11:30～、12:15～ （各45分）
利用状況	利用件数 28件（詳細は別表）

女性のためのチャレンジ相談

事業名	チャレンジ相談
事業趣旨	再就職や起業、働き方の見直し、地域活動など新たに何かを始め、チャレンジする女性の不安を解消し、各人に応じた適切な支援につなげることを目的として相談を行う。
対象	再就職や起業などを希望する女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 第2木曜日 10:00～、11:00～、12:00～、13:00～ （各50分）
利用状況	利用件数 33件（詳細は別表）

女性のための悩み電話相談

事業名	女性のための悩み電話相談
-----	--------------

事業趣旨	生きていく上で直面するさまざまな悩みや迷いなどの気持ちに寄り添い、自身の力を大切にしながら、次の一步を踏み出すサポートをする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 毎週月曜・第1日曜 10:00～14:00
利用状況	利用件数 130件

男性のための悩み電話相談

事業名	男性のための悩み電話相談
事業趣旨	男性の気持ちを受け止め、孤独をやわらげ、自尊感情の回復をサポートする。
対象	家庭や職場、ライフステージ等における悩みを持つ男性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 毎月第1土曜日 15:00～18:00
利用状況	利用件数 33件

セクシュアルマイノリティ相談

事業名	セクシュアルマイノリティ相談
事業趣旨	からだの性とこころの性、性の表現のあり方などセクシャリティの悩みについての専門家によるサポート。
対象	セクシャリティの悩みを持つ当事者、友人、家族、教師など
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料
開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 第1・第3金曜 15:00～18:00
利用状況	利用件数 57件

就労支援相談

事業名	就労支援相談
事業趣旨	出産や子育てなどで仕事をしていない女性の就職、再就職をハローワーク伊丹マザーズコーナー職員がサポートする。
対象	就職を希望する女性
広報等	市広報・HP・SNS・相談案内パンフレット・配架チラシ・情報誌ここいろ
参加費	無料

開設日時	令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）3月 偶数月…第4金曜日、奇数月…第2水曜日 ・ 第4金曜日 9:00～、10:00～、11:00～（各50分）
利用状況	利用件数18件

グループカウンセリング①

事業名	わたしの中の“生きづらさ”
事業趣旨	なんとなく自分に自信が持てない…悩みのループから抜け出せない…本音で話せる人が周りにいない…ひとりでしんどい思いを抱えて、センターの相談や講座につながる女性が多い。「こんな悩みは自分だけだろう」と心の内にしまい込み、自分を責めて落ち込んでいる状況もある。同じような悩みや思いを感じている女性達と出会い、その生きづらさは自分ひとりのものではなく、社会の問題であるということに目を向けられるよう、そしてひとりでは得られない “気づき” や自分の中にある “力” にたどり着けるよう、グループカウンセリングで語り合う。（グループカウンセリングは、同じ問題を持つ人たちがお互いの体験や気持ちを話し合い、カウンセラーがファシリテーターとして入る。）
対 象	テーマに関心のある女性
講 師	荒木 美恵（臨床心理士、公認心理師）
募 集	定員10人 申込み12人 受講者 ①11人 ②10人 ③7人 ④9人 ⑤6人 ⑥8人(延べ51人)
	保育6人 申込み1人 出席 ①1人 ②1人 ③0人 ④1人 ⑤1人 ⑥0人(延べ4人)
参加費	無 料
開催日時	①4月17日 ②4月24日 ③5月1日 ④5月8日 ⑤5月15日 ⑥5月22日 各水曜日 10:00～12:00 全6回

グループカウンセリング②

事業名	シングル女性の働き方・生き方
事業趣旨	人生 100 年時代、家族の在り方は変化し、女性の人生も多様化してきた。自身の選択でも、予定外の形でも、ひとりで生活をする女性が増えてきている。仕事のこと、収入のこと、将来のこと…ひとりならではの悩みや不安も多い。同じような思いを感じている女性達と出会い、その悩みは自分ひとりのものではなく、社会の問題であるということに目を向けられるよう、そしてひとりでは得られない“気づき”や自分の中にある“力”にたどり着けるよう、グループカウンセリングで語り合う。 （グループカウンセリングでは、同じ問題を持つ人たちがお互いの体験や気持ちを話し合い、カウンセラーが 進行役・ファシリテーターとして入る。）
対 象	テーマに関心のある女性
講 師	荒木 美恵（臨床心理士、公認心理師）
募 集	定員 10 人 申込み 11 人 受講者 ①8 人 ②8 人 ③7 人 ④5 人 ⑤6 人 ⑥6 人(延べ 40 人) 保育 6 人 申込み 0
参加費	無 料
開催日時	①10 月 11 日 ②10 月 25 日 ③11 月 8 日 ④11 月 22 日 ⑤12 月 13 日 ⑥12 月 27 日 第 2・4 金曜日 各 18 時時半～20 時半 [全 6 回]

VI 情報事業

1. 図書・情報スペース

蔵書総数（うちDVD 40本）	2,656
図書貸出冊数（令和6年度）	1,415
図書利用者登録数（令和7年3月31日現在）	449
貸出利用者数（延べ 令和6年度）	661

＜ 貸出図書資料及び利用者の傾向 ＞

カテゴリー貸出順位

順位	カテゴリー
1	K 芸術・表現・コミック
2	L 文学・ノンフィクション・児童文学
3	M 絵本
4	B 男女の自立・共生・心理
5	I 子ども・教育 J
6	Z 雑誌
7	J 高齢社会
8	H ころろ・からだ・性
9	D 女性論・フェミニズム
10	F 労働・職業
11	G 結婚・家族
12	E 女性と社会・IT
13	C 女性史・世界の女性

貸出回数ベスト10 一般書

順位	
1	成瀬は天下を取りにいく
2	まるちゃんの老いよボチボチかかってこい！
3	あいにくあんたのためじゃない
4	台所をひらく 料理のこうえあるべきから自分をほどこヒント集
5	家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった
6	介護現場歴 20 年
7	団地のふたり
8	恋せぬふたり
9	ようこそヒュナム洞書店へ
10	私がお金に困らないためには今から何をすればいいですか？

< 収集資料 >

(1) 図書・DVD・雑誌

年6回の図書選書、及び随時購入を行い、図書 190 冊、DVD 1 本、定期購読雑誌 7 誌等、ジェンダー視点のある図書資料を追加した。

(2) テーマ展示

令和 6 年度	図書・情報 展示コーナー
4 月	若年層の性暴力被害予防月間
5 月	こころジェンダー講座
6 月	男女共同参画週間
7 月	学生・若者向け
8 月	母娘問題 映画から考えるジェンダー
9 月	鳴く虫と郷町
10 月	就労支援
11 月	女性に対する暴力をなくす運動
12 月	メディアとジェンダー
1 月	防災図書
2 月	就労支援
3 月	国際女性デー



2. 情報誌「ここいろ」発行

体裁： A4版 8ページ カラー

発行部数： 2000 部

発行回数： 年2回

	巻号	発行月	特集
	第9号	5月	寄稿「変化を読み解き、アップデートする」 関西大学社会学部教授 守 如子さん
	第10号	11月	寄稿 「女性の生涯の健康と少子高齢化社会と」 大阪大学大学院医学系研究科 次のいのちをまもる 人材育成教育研究センター 特任教授 森 臨太郎さん

3. 就労支援情報コーナー

就労支援コーナー横に就労支援情報コーナーを設け、情報提供に努めた。

＜ 提供内容等 ＞

ハローワーク伊丹から定期的に提供される求人情報、女性就労・労働関連チラシ・冊子など。



4. ホームページによる情報発信

ホームページの更新（随時）

2024年4月1 日～2025年3月31 日まで

ページ閲覧順位

合計	87,485 全体の 100%
1 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	20,218 (23.11%)
2 講座・イベント 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	5,940 (6.79%)
3 女性のためのカウンセリング 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	3,547 (4.05%)
4 女性のための悩み電話相談 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	2,893 (3.31%)
5 施設案内 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,886 (2.16%)
6 相談室 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,998 (2.28%)
7 ここいろについて 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,976 (2.26%)
8 学習室・プレイルーム 施設案内 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,603 (1.83%)
9 ルワンダからの学生レポート 図書・情報 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,714 (1.96%)
10 ここいろジェンダー講座 伊丹市立男女共同参画センター ここいろ	1,600 (1.83%)

5. SNS による情報発信

各投稿数

Facebook 46回



LINE 40回



Instagram 46回



Ⅶ 研修

各種の研修等に参加することにより、男女共同参画センター職員としての資質の向上に努めた。

＜関係機関等との連絡・調整等＞

日時	内容	開催場所	参加者
9月25日	令和6年度 名古屋市女性国内研修	オンライン	センター長
11月7日	令和6年度第2回県内男女共同参画センター等連絡会議	オンライン	センター長
12月11日	全国女性会館協議会 相互支援ネット運用訓練	オンライン	センター長
3月11日	令和6年度阪神北地域 DV 防止対策連絡会議	宝塚健康福祉 事務所	相談担当者

＜外部研修＞

日時	研修目的	内容	研修種別	対象者
5月28日	地域における男女共同参画指針のための事業企画研修	地域が抱える課題を整理し、課題解決に向けた事業をデザインする知識やスキルを身に付ける	NWEC オンライン	職員1名
6月2日	男女共同参画の視点に立った事業企画を考える	男女共同参画の視点に立った事業企画を行うためのプログラムデザインの作成	NWEC オンライン	職員1名
7月18日	教育熱とこれからの話	国際派小児科医が語る子育てと社会の話	宝塚エル	職員1名

＜内部研修＞

日時	研修目的	内容	対象者
5月18日	ジェンダーをめぐる男性の抱える悩みと生きづらさについての理解	女性を制圧することなく男性が生き生きと暮らせる社会	職員1名
6月1日	子どもの人権を守るための取組	子どもを性被害から守る	職員1名
6月20日	アクションワークを通じて自己理解と他社とのコミュニケーションを学ぶ	ジェンダーについて考える身体を動かすワーク	職員1名
10月17日	自分らしく働くために 2. コミュニケーションについて考える	心理学の法則を元に効果的なコミュニケーションを学ぶ	職員1名
1月17日	防災研修「応急手当の重要性」	子どもが参加するイベントに備え子どもの応急処置などの実習を含んだ研修	職員3名